

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

指定文化財(建造物)

こんこうがくえんちゅうがくこうとうがっこうきねんこうどう

金光学園中学高等学校記念講堂

新高総早倉矢井
見梁社島敷掛原
市市市町市町市

浅
口
市

里笠
庄岡
町市



場所

・浅口市金光町占見新田



時代

・明治時代



指定年月日

・平成26(2014)年
10月7日



所有

・学校法人 金光学園



見学

見学不可



この建造物について

金光学園中学高等学校記念講堂は、明治37(1904)年、現金光教本部の一角にあった旧金光

中学校校地に建てられた講堂で、昭和31(1956)年に現在地に移築されました。

構造は、木造平屋建、寄棟造、棧瓦葺です。屋根には半円形の屋根窓を設け、軒下には雲形の持

送で装飾しています。外壁は下半を板張り、上部を漆喰塗とし、壁に「X」字状の木組みを表現し

ています。内部の天井は二重折上格天井で、これは旧遷喬尋常小学校(国重要文化財)旧吹屋小

学校(岡山県指定重要文化財)にもみられる構造です。

和風(寺社建築)と洋風のデザインを融和させたデザインに特徴があり、明治期の学校建築の様

式や技術を知る上で貴重な建造物です。

